

(別紙4(2))

事業所名: グループハウスおよりの郷 I

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 10 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	書面会議であっても対面による会議と同様、双方向性が求められる為、書面による報告内容に対し、各メンバーから質問、意見、要望を受ける事が出来るよう工夫することが望ましい。更に報告内容にはヒヤリハット・事故報告内容を追加し、より運営の透明化を図れるよう取り組むことが望ましい。	運営推進会議に参加頂く各分野の方の意見や質問、要望を聞きだせるよう書面会議の際は要望書の内容を見直しを行う。	要望書の内容を質問形式へ変更し各分野の参加者から要望等を聞ける様に取り組む。 報告内容にヒヤリハット・事故報告内容を追加し報告する。	2 ヶ月
2	6(5)	身体拘束に関して委員会開催後に資料を職員へ配布しているが、職員によっては理解が弱いと感じられる部分があることを踏まえ、研修の修得状況(現在のケアの再確認等を含む)を確認するなど系列のグループホームとも協力し取り組むことを期待する。	身体拘束に関して全職員が理解を得て事業理念に沿って支援が行えるようにする。 系列のグループホームとも現状の確認、研修の習得状況を確認し合えるよう取り組む。	身体拘束廃止委員開催の資料を配布した後、職員間で内容の確認を行い、事務所等に関連の資料を掲示し常に意識し支援が行えるよう取り組む。 系列のホームと施設長会議で現状の報告を行う。	2 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。